

油圧ショベル(クローラ式)
特定自主検査記録表

3 年 間 保 存

建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの排出
の抑制を図るための指針に基づく検査共用

証明書
発行日 1 年 12 月 11 日 様式SR-EHC-01-E
証明書
発行No. 12-81 標章
No. 1343298

メーカー名	CAT	管理 No.	4G-006	使用者住所 氏名又は名称	中城村字久場1991番地 町田機工株式会社		
型式	311D-R2			機械管理者氏名	町田 宗才		
製造 番号	AKW01204		稼働 時間	2496 h	検査業者登録番号	第 17 号	
性能	0.45m ³			検査業者又は事業者 住所・名称 責任者名	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株) 又吉 悟		
検査 実施場所	うるま市具志川			検査業者登録番号	第 17 号		
検査 年月日	R1 年 12 月 11 日		検査者 氏名	平川 善之			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	検査結果		補修 内容	
					良	不良		
エンジン	1	本体	a ★始動性 かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動 目視、操作、聴診 b ★回転の状態 アクセルの作動、回転具合 目視、操作、聴診 アイドリング回転 (960 min ⁻¹)、無負荷最高回転 (1740 min ⁻¹) 回転計 c ★排気の状態 排気色、排気音、排気管・マフラー等のガス漏れ 目視、操作、聴診 d ★エアクリナー ケースの亀裂・変形、緩み、エレメントの汚れ・損傷、油量 目視、触診 e ★締付け シリンダーヘッド、マニホールドの取付 トルクレンチ f ★弁すき間 弁すき間(吸最大 mm・最小 mm)(排最大 mm・最小 mm) シックネスゲージ g ★圧縮圧力 圧縮圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 圧縮圧力計 h ★噴射圧力 噴射圧力 (MPa) 1 2 3 4 5 6 ノズルテスター i ★噴霧状態 噴霧状態 良○・不良× 目視、ノズルテスター j ★過給器 異常振動、異音、ガス漏れ、潤滑油漏れ 目視、聴診 k ★エンジンマウント ブラケットの亀裂・変形、緩み・脱落、防振ゴムの損傷・劣化 目視、レンチ等	目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、操作、聴診 目視、触診 トルクレンチ シックネスゲージ 圧縮圧力計 ノズルテスター 目視、ノズルテスター 目視、聴診 目視、レンチ等	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇	
	2	★潤滑装置	油量、汚れ、油漏れ、エレメントの汚れ・損傷	目視	〇	〇	〇	
	3	★燃料装置	燃料漏れ、ホースの損傷、老化、エレメントの汚れ・目詰まり	目視	〇	〇	〇	
	4	★冷却装置	水量、汚れ、水漏れ、目詰まり、ホース損傷・老化、ラジエーターキャップ機能・損傷、ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、ファン・カバー・ダクト等の亀裂・損傷・変形・取付	目視、触診、スケール	〇	〇	〇	
	5	★電気装置	充電装置機能、バッテリー液量・端子緩み・腐食、配線緩み・損傷	目視、触診、電流電圧計	〇	〇	〇	
	6	エアコンプレッサー	異音、異常振動、エア漏れ、油漏れ、タンク内凝水、作動	目視、操作、聴診、圧力計	〇	〇	〇	
	7							
	走行装置	8	起動輪、遊動輪	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	〇	〇	〇
		9	上部ローラー、下部ローラー	亀裂、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付、油漏れ	目視、聴診、触診、探傷器	〇	〇	〇
		10	履帯	シュー亀裂・変形・摩耗、取付、リング・ブッシュ亀裂・摩耗、ピッチ長、たわみ、ピン抜け、ゴムパッド(欠け、老化、摩耗)	目視、スケール、探傷器	〇	〇	〇
		11	ゴム履帯	スチールコード切断・損傷、ゴム(欠け・老化・摩耗)、心金脱落、たわみ	目視、スケール	〇	〇	〇
		12	履帯調整装置	作動、調整ボルト・ナット・ロッド・ヨークの亀裂・変形、腐食・摩耗、シリンダー油漏れ	目視、操作、探傷器	〇	〇	〇
		13	走行減速機	異音、異常発熱、ケース亀裂・損傷、取付、油量、汚れ、油漏れ	目視、聴診、触診	〇	〇	〇
		14						
制動		15	駐車ブレーキ	効き	目視、操作	〇	〇	〇
	16							
作業装置	17	ブーム、アーム、バケット、リンク	亀裂、変形、摩耗、がた、取付、ピンシール損傷	目視、操作、ノギス、探傷器	〇	〇	〇	
	18	ツース	脱落、がた、摩耗	目視、触診	〇	〇	〇	
	19	ブレード	亀裂、変形、摩耗、がた、取付	目視、操作、探傷器	〇	〇	〇	
	20	フック	変形、摩耗、亀裂、外れ止め機能・損傷	目視、操作、ノギス	〇	〇	〇	
	21							
油圧装置	22	作動油タンク	油量・汚れ、油漏れ、エア漏れ、ブレーザ目詰まり、取付	目視、石けん水	〇	〇	〇	
	23	フィルター	汚れ・目詰まり、油漏れ	目視、触診	〇	〇	〇	
	24	配管(ホース類、高圧パイプ)	亀裂・損傷、老化、ひび割れ、ねじれ、油漏れ、取付	目視、触診	〇	〇	〇	
	25	油圧ポンプ	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱、負荷時吐出量・吐出圧	目視、聴診、触診、テスター	〇	〇	〇	
	26	油圧モーター	油漏れ、異常振動、異音、異常発熱	目視、聴診、触診、テスター	〇	〇	〇	
	27	油圧シリンダー	作動、油漏れ、伸縮量、切痕、亀裂、曲がり、擦り傷	ブーム用 ブレード用 アーム用 スイング用 バケット用 オフセット用 目視、操作、スケール、タイマー	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	〇 〇 〇 〇	

3 年 間 保 存

4G-006

区分	No.	検 査 箇 所	検 査 内 容	検 査 方 法	検査結果		補 修 内 容	
					良	不良		
油 圧 装 置	28	コントロール弁 (方向、圧力、流量、逆止め、電磁弁)	作動、油漏れ、取付、異音、異常発熱	目視、操作、聴診、触診	✓			
	29	回転継手	回転状態、油漏れ、異音		✓			
	30	オイルクーラー	冷却効果、目詰まり、変形、損傷、油漏れ モーターの異常振動・異音・異常発熱	目視、聴診、触診	✓			
	31							
操 作	32	操作レバー	ストローク、がた	目視、操作、スケール	✓			
	33							
安 全 装 置 ・ 車 体 関 係 等	34	下部架台フレーム、ブラケット	亀裂、変形、しゅう動部摩耗、取付	目視、スケール、探傷器	✓			
	35	旋回フレーム、ブラケット	亀裂、変形、取付	目視	✓			
	36	旋回ベアリング、旋回ギヤ	引っ掛かり、異音、ギヤ亀裂・摩耗、取付、シール損傷	目視、操作、聴診、トルクレレンチ	✓			
	37	旋回減速機	異音、異常発熱、油量、汚れ、油漏れ、取付	目視、操作、聴診、触診	✓			
	38	旋回ロック	効き、亀裂、損傷、油漏れ、ホース損傷・老化	目視、操作	✓			
	39	レバーロック、ペダルロック	効き、損傷、変形		✓			
	40	キャブ、カバー	亀裂、変形、腐食、雨漏り、ドア等開閉、ロック・キー作動、ガラスのひび・損傷	目視	✓			
	41	カウンターウエイト	取付		✓			
	42	座席(調整機構、シート、シートベルト)	作動、損傷、取付	目視、操作	✓			
	43	昇降設備、滑り止め	亀裂、損傷、変形、取付	目視	✓			
	44	表示板	損傷、取付		✓			
	45	灯火装置、警音器、方向指示器 窓拭き器、デフロスター等	作動、取付、レンズ損傷、浸水	目視、操作	✓			
	46	計器類	作動	目視	✓			
	47	後写鏡、反射鏡、カメラ	汚れ、損傷、写影、取付		✓			
	48	給油脂	給油脂状態、自動給油脂装置作動	目視、操作	✓			
49								
総 合	50	総合テスト	作動、異常振動、異音、異常発熱	操作、聴診、触診	✓			
排ガス装置	51	★ 一酸化炭素等発散防止装置	触媒等の緩み・損傷、排気温度警告装置の配線緩み・損傷、 排ガス減少装置のホース・パイプの緩み・損傷	目視、聴診、レンジ等	✓			
事業 要 請 者 等	次回特定自主検査実施年月 R2 年 12 月							
	オイル等、使用前に点検して下さい。							
補 修 等 の 措 置 内 容								
照合No.	補修箇所及び不具合状況		補修年月日	補 修 実 施 内 容				
1	エンジンオイル不足		R1-12/11	エンジンオイル補給				
2	エンジンオイル不足			エンジンオイル補給				
備 考	1. 検査の結果、異常のないものは、検査結果欄の良に、また異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 検査結果が異常なものについては、検査内容、検査方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 検査内容に*印が付けられた項目は、関連機能が正常であれば検査を省略できる。省略した場合は*印を○で囲む。 4. 検査の結果、補修等を行った場合は、補修内容欄に右の記号に従って記載する。また補修内容等の詳細説明を要するものについては、補修等の措置内容欄に記載する。 5. ★印は「安衛法」と「建設業に係る特定特殊自動車排出ガスの抑制を図るための指針」との共通検査項目であり、★★印は同指針のみの検査項目である。							
	記 号	交 換	分 解 交 換	修 理	調 整	締 付	清 掃	給 油 水
	×	⊗	△	A	T	C	L	—

廃棄まで保存

エアコンディショナー 簡易点検記録表

(フロン排出規制法に関わる第一種特定製品の簡易点検の検査を行う事項)

※第一種特定製品の自動車用エアコンディショナー（自動車リサイクル法の対象の製品を除く）を装着していること。

本体 メーカー名 CAT	管理 No. 46-006	管理者の住所 氏名又は名称 中城村字久場1991番地 管理従事者氏名 町田機工株式会社 町田宗才			
型式 3110-R2	フロン排出抑制法に関わる第一種特定製品				
製造 番号 AKW01204	種類 HFC	冷媒 番号 R134a	出荷時 封入量	0.9 kg	

簡易点検 実施場所 うるまやーと	簡易点検 実施日 R1 年 12 月 11 日	簡易点検 実施者名 平川善之
---------------------	----------------------------	-------------------

簡易点検実施会社 住所・名称	沖縄市登川3458番地 マチダテクノ(株)
-------------------	--------------------------

区分	No.	簡易点検箇所	簡易点検内容	簡易点検方法	簡易点検結果		補修内容
					良	不良	
車外	1	コンプレッサー	ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、異常振動、異音、油のにじみ、取付	目視 聴診 触診	✓		
	2	コンデンサ	汚れ、損傷、腐食、錆び、油のにじみ、取付	目視	✓		
	3	ファン	ベルト(たわみ、摩耗、損傷)、異常振動、異音、油圧、電動、取付	目視 聴診 触診	✓		
	4	レシーバー、配管類	サイトグラス汚れ、作動、損傷、腐食、錆び、油のにじみ、取付	目視	✓		
車内	5	エバポレーター	作動、異常振動、異音、取付	目視 聴診	✓		

所有者への要請等	次回簡易点検年月	R2 年 3 月
	使用前は、必ず点検を行う。下記を。	

簡易点検結果内容欄			
照合No.	補修箇所及び不具合状況	補修年月日	補修実施内容

備考	1. 点検の結果、異常のないものは、点検結果欄の良に、又異常なものは不良の欄に「✓」印の記号を記載する。 2. 点検の結果が異常なものについては、点検内容、点検方法欄の該当項目を○で囲む。 3. 点検の結果、フロン類に補修が必要な場合は、点検結果内容欄に記載し専門点検をおこなう。 4. 簡易点検は3か月に一回以上点検する。 5. 点検表は、当該管理第一種特定製品を廃棄するまで、保存する。	記 号	調 整	締 付	清 掃	該 当 な し
		A	T	C	—	